



菊武学園フラッシュニュース

年末のビッグイベント

「KIKUTAKE ルミナ」点灯式を行う

名古屋産業大学・名古屋経営短期大学では、12月10日に毎年恒例の「KIKUTAKE ルミナ」の点灯式が、名古屋産業大学・名古屋経営短期大学の尾張旭キャンパス中央広場で開催されました。

学友会執行委員がセレモニーの司会進行を行い、学内から募集した「今年の漢字」の各賞発表と抽選会につづき、四短合同ダンスサークルによるダンスパフォーマンスと子ども学科有志学生によるトーンチャイム生演奏がイベントに華を添えてくれました。



(今年の漢字：学長賞「幸」)

学全体の植え込みなどに手作りのペットボトルランタン数百個を装飾し、優しく温かな光が溢れていて心やすらぐ空間が広がっていました。

ルミナの点灯は、年明けの1月14日まで継続し、地域の方々にも楽しんでいただくことができます。

また、新たな試みとして、ひもでつないだスカイランタン50基を夜空に浮かばせて、幻想的なムードを一層盛り上げていました。参加者同士が繋がり共に感動を分かちあうことができる素敵な体験になったのではないかと思います。



(スカイランタン)

【協賛・協力：日本スカイランタン協会】

スカイランタンは日本スカイランタン協会®及び株式会社エクспラウドの登録商標です。

命の大切さを学ぶ

菊華高等学校では、命の尊さや大切さについて改めて考える機会として「命の講話」を企画・実施しました。

今回は、カンボジアで孤児院を運営されている後藤勇太さんを講師にお迎えし、「This is My Life ～可能性しかないのが人生～」をテーマに、現地での活動や実体験を交えたお話を伺いました。

後藤さんの講話は、命の大切さだけでなく、子どもたちが「いろんなことにチャレンジしてみたい!」と思えるような、心のこもった熱い内容でした。生徒たちは真剣な表情で耳を傾け、多くのことを学び取っていました。また、講話終了後には「自分の命や周りの人を大切にしたい」「日々の生活をもっと感謝して過ごそうと思った」といった感想が多く聞かれ、生徒たちにとって心に深く響く学びの時間となりました。



(講話の様子)

昨年はカンボジアの子どもたちに文房具を送る活動を行いました。今年は保育・福祉コースの生徒を中心に、LEGO などのおもちゃを集め、子どもたちへのプレゼントとして届ける予定です。

命や思いやりの大切さを考える学びを今後も深めてまいります。

芸術鑑賞会でダンスの楽しさを体感

菊武ビジネス専門学校では、12月18日にウインクあいち（名古屋市中村区名駅）で「芸術鑑賞会」を実施しました。

今年は、ブレイクダンスパフォーマンスユニット『しょぎょーむじょーブラザーズ』さんをお招きし、見ているだけで楽しいブレイクダンスや息をのむようなアクロバットの数々のパフォーマンスを行い、日本でも珍しいエンターテインメントを見せていただきました。後半は希望者も舞台上に上がり、会場全体でダンスの楽しさを体感しました。また、『しょぎょーむじょーブラザーズ』さんから「夢をあきらめずに挑戦していこう!」と全校生徒へエールもいただきました。

今回も大変充実した芸術鑑賞会になりました。



(芸術鑑賞会の様子)

研修旅行 沖縄・リゾナーレハケ岳へ

名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院では、冬休みを前に、本校学生らは普段の学びをより昇華させるべく、研修旅行へと旅立ちました。

2年生は12月15日から2泊3日で沖縄卒業研修旅行へ出かけ、「ブライダルビジネス科」は沖縄の海を一望できるチャペル見学、「フラワービジネス科」は観葉植物・胡蝶蘭の生産農家と市場訪問、「トータルビューティ科」は発酵をテーマにしたスパでリラクゼーション体験をしました。各学科とも今回の研修旅行でたくさんの研修を受け、友達との有意義な時間を過ごすことができました。



(沖縄研修)

そして、「ブライダルビジネス科」の1年生は12月18日から1泊2日で星野リゾート・リゾナーレハケ岳研修旅行へ出かけました。洗練されたデザインと自然が調和した空間を舞台に、誰もが自然体で楽しめるリゾートならではの滞在型リゾートウェディングの魅力を、身をもって感じてきました。模擬教会式での牧師さんの説教は非常に厳かな雰囲気の中で行われ、重みのある説教にみんなどんな真剣な表情で聞き入っていました。



(リゾナーレハケ岳研修)

今回の研修旅行では、違った視点や角度から物事を見て多くのことを学び、学生同士とても良い時間を過ごすことができました。

「空気」をテーマに科学教室を行う

菊武幼稚園では、12月20日に学研の指導員さんにご協力いただきながら、今年度第2弾の科学教室を行いました。科学教室は年長児を対象に行われ、閉じたダンボール箱の一端に丸い穴を開け、両側を手で強く叩くと穴から空気の塊がぽんっと飛び出す空気砲を作り、煙がどのように飛んでいくのかを実験を通して学びました。

子どもたちは、部屋の明かりを暗くして、煙がどのように飛んでいくのかの様子を見て、指導員さんから「煙はどんな形に見えたかな?」、段ボール箱の穴に紙コップを被せると「どちらに飛ぶでしょうか?」と問いかけられると、元気よく「上〜!」と答えて、紙コップが勢いよく上に飛んでいくのを見て、歓声とともに大はしゃぎでした。



(科学教室の様子)

これからも身近な科学現象をテーマにしたさまざまな科学体験を通して、子どもたちの好奇心や探究心を育むことができる科学教室を行いたいと思っています。

年長児「花もちづくり」を体験

稲葉保育園では、12月16日に尾張旭市アグリ生活研究の方々に教えていただきながら、年中児・年長児が「花もちづくり」を行いました。花もちとは、花のない冬の時期、正月を彩る花の代わりに晩秋の葉が落ちた枝に紅白の餅をつけて、正月飾りとして用いたものです。

もち米を蒸すにおいがしてくると、子どもたちが次々に顔をのぞかせて「わあ、いいにおい」と、興味津々の様子でした。小さく切った紅白もちを枝につける時、手早く行わないと乾いてしまって付けるのが難しく、「これでいい?」と、友だち同士確認し合ったり、アグリ食育研究の方に聞きながら、1人2本の花もちを作りました。出来上がったものは、家に持ち帰り、正月飾りとして楽しんでいただきます。



(花もちづくりの様子)